

岐阜聖徳学園大学 経済情報学部カリキュラム・ポリシー

岐阜聖徳学園大学では、建学の精神にのっとり宗教的情操を基調として、幅広い教養と専門的知識、技術を身につけた社会に有為な人材を育成することを目的に教育課程を編成しています。教育課程は各学部で独自に編成されますが、建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講しています。

経済情報学部では、教育理念および教育目標に示された人材を育成するために、基礎教養科目と専門科目からなる教育課程を体系的に編成しています。各科目群のねらいと教育目標は次の通りです。

・基礎教養科目

社会に対する知識や理解を深めるために、次の3つの科目群から構成しています。教養科目では、社会や経済状況についての幅広い知識を学びます。外国語科目では、異なる言語や文化を持つ人とコミュニケーションをする手段である語学力を学びます。保健体育科目では、心身を鍛え、健康づくりや安全に配慮した自己管理を学びます。

・専門科目

経済情報学部として必ず学ばなければならない科目として、1年次に少人数講義の入門経済学を配置し、専門科目を学ぶ基礎を育成します。2年次に職業選択を配置し、キャリア形成への意識向上を図ります。3、4年次にゼミ形式で学ぶ専門演習を配置し、専門分野での問題発見・解決能力を養い、コミュニケーション力を高めます。

学生各自の学習目標と将来の進路を熟考させた上で、選択科目として、次の科目群を提供します。

「経済の基礎」科目群を1、2年次に配置し、経済の基礎を固める科目を提供します。

「経済の分析」、「経済の考え方」科目群を2年次より配置し、経済の専門を学ぶ科目を開講します。「企業の経済」科目群を1年次より配置し、経営の専門を学ぶ科目を開講します。「情報系」科目群を1年次より配置し、情報の基礎からプログラミングや情報システムについて学ぶ科目を開講します。「経済と情報」科目群を2年次より配置し、これらを通じて最新の経済・情報について学ぶ科目を開講します。

これらの科目を選択することで、学生各人が思い描く将来像を実現し、社会貢献し、実社会の発展に尽くすことができる人材を育成することを目標としています。